

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。



沖縄協同病院・病院広報委員会

那覇市古波蔵4丁目10番55号

TEL.(098)853-1200

FAX.(098)853-1212

http://oki-kyo.jp

発行責任者 仲程正哲

新しいエコー機に 買い換えました



旧病院時代から使用していたエコー機は、耐用年数も過ぎ何度も修理を繰り返していた、画像も悪くなっていました。

昨年末、待望の新エコー機に買い換えることができました。

数社のエコー機を見比べて検討を重ね、生理検査室全員一致で決定しました。

新しいエコー機はフィリップス社製の最新型の汎用機で、腹部や心臓、乳腺等々いろいろな部位を検査することができます。

できます。

えっ？こんなにはっきり見えるの!? 解像度は抜群です。

定期検査のスクリーニングから、病気の質的診断まで幅広く活用していきたいと思います。

検査室 新里尚子

病院の活動状況 <2月度>

- ・外来一日平均患者数:749人(前年同月比+101人)
- ・入院一日平均患者数:265人(前年同月比+3人)
- ・組合員利用率:56.1%(前年比+3.7%)

医師臨床研修理念が出来ました

「はいさい2013年8月号」でお知らせした第三者機関による臨床研修病院の研修評価受審が2014年3月7日に決定しました。そこで臨床研修病院として「医師研修理念」を作成しましたので紹介したいと思います。

この理念の基に良い研修医の育成の為、職員一同頑張っていきますので皆様のご協力をお願いいたします。

医局事務課 照屋瑞男

沖縄協同病院 医師研修理念

基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

就任のあいさつ リハビリ室長 賀数裕規



1月6日付けでリハビリ室の室長となりました賀数裕規です。今までのリハビリ業務とは別に会議や文書作成などの管理業務に戸惑っていますが、早く一人前の室長になれるよう頑張ります。

リハビリ室は総勢40名、平均年齢は約30歳と若く元気なスタッフがたくさんいます。早い回復を目指しながら、患者さんと共に日々一生懸命頑張っています。

今回の機会に自分たちの足元(理念)を再確認し、更により良いリハビリテーションサービスを提供する気概と組織づくりに取り組み、また医療生協活動や平和社会保険運動にもリハビリ室が先頭に立って頑張っていきます。

若い集団であるため周りのみなさんのご支援も必要になる事も多々あるかと思いますが、ご指導よろしくお願いします。

腹腔鏡下手術の変遷 ー開腹手術～腹腔鏡下手術～ロボット手術ー その①

いざこざ 90

外科



私が医者になった頃は、「Big incision, big surgeon」なる言葉がありました。

「偉大な医者は大切開で手術をする」という意味です。胆石の手術では、術者の両手が入る位の皮膚切開(約25cm)を置いたものでした。少しでも小さい皮膚切開だと、指導医の先生に、「あと5cm切れ」と言われ、逆らおうものならば、メスを取り上げられました。このような従来の外科手術に革命が起こったのは、腹腔鏡下(ふくくうきょうか)胆嚢摘出術(たんのうてきしゅつじゅつ)の登場でした。

歴史的には、世界で最初の腹腔鏡下手術は、一九八〇年にドイツのゼム教授による腹腔鏡下虫垂切除術(いわゆるもうちょうの手術)です。ゼム教授は婦人科医ですが、内視鏡外科の先駆者として、今ではとっても高名です。しかし、当時は「頭がおかしい」とされ、なんとドイツ産婦人科学会から除名されたそうです。それゆえに当時から共感する外科医がいたにも拘わらず、葬り去られる手術になってしまいました。この頃から日本でも診断的腹腔鏡を専門としていた内科の先生から「胆嚢摘出術は腹腔鏡下に可能では？」との意見があったそうですが、残念ながら当時の外科医からは全く相手にされませんでした。

一九八五年、やはりドイツの外科医ミューエ教授は、世界で初めて腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行し、一九八六年にドイツ外科学会で発表されましたが、周囲の外科医からは全く興味を持たれなかったそうです。一部の外科医に受け入れられましたが、大御所から迫害され、「この手術をする」と医師免許を剥奪される」との噂もあったようです。

このような負の流れに終止符を打った出来事がフランスで起こりました。



カーサムーチーを 提供しました

去った1月8日(旧暦の12月8日)、沖縄ではカーサムーチーの日でした。ムーチーピーサと言われ、1年で最も寒さが厳しいこの時期に厄除けの鬼餅として作って食べる様になったそうです。

またサンニン(月桃)には驚くほどの生命力がある事から、子供の成長を願って、餅をサンニンの葉に包み吊るす習慣もあります。

沖縄協同病院、とよみ生協病院でも、その日の昼食に黒糖入りカーサムーチーを行事食として、メッセージを添えて提供しました。サンニンの香りが穂のかに漂い患者様にも喜ばれました。

栄養管理室 喜名広美



虹の箱とは患者さまの声を医療活動に反映させていくための投書箱です。

投書 定期的に内科に通っています。いつもありがとうございます。看護師の方もほとんどの方が笑顔で話しく気持ち良いです。

希望なのですが待ち時間がわかりやすいよう番号掲示版の様なものを設置することはできないでしょうか？

たくさんの患者さんで待ち時間が2～4時間かかりますが、それはしかたないと思います。でもその何時間の間に用事が出来たり、行事に参加できるので、あるとありがたいです。

掲示版などができるように願っています。

回答 ご意見ありがとうございました。現在はおおよその待ち時間を受付横に表示しております。

実際の診察順番表示については具体的なシステムを検討しているところです。

お問い合わせいただけましたら、順番目安をお伝えしますので、ご遠慮なく職員へお声かけください。

1階外来師長 玉城淳子

第9回 漫湖公園さくらまつり

と き：2014年2月8日(土)、9日(日)

ところ：漫湖公園古波蔵側中央噴水広場

主 催：漫湖さくらまつり実行委員会

※沖縄協同病院、協同にじクリニック合同で骨密度測定などを予定しております。

【沖縄協同病院・協同にじクリニックの出展】

◆骨密度測定

8日(土)10:00～15:00 9日(日)10:00～15:00

◆歯の健康相談

8日(土)13:30～16:00 9日(日)10:00～13:30

※たくさんの方のご来場をお待ちしております。

季節の 挿絵

〈画〉
内科医
上原和博

春を待つ、
雪の重みに耐え…



おきなわの 自然⁴⁵

ウクマミ

二カ月ほど前、レタス畑にナンクルミ(勝手に生えてきた苗)のマメ科の植物が生えてきた。タイワンクズに似ているが蔓が赤い。日に日に四方に蔓を伸ばし、瞬く間に藤の花を立てたようなピンクの花が葉の間からニョキニョキ出てきた。その段階で母が「ウレー ウクマミヤサ。

懐かしいさー」と言う。昔は河原にいっぱい自生していて、さやが柔らかいうちに収穫して、おかずにしたという。どんな味かと聞くと、「うちはキビ農家で野菜を栽培してなかったんで野菜は何でもおいしかった」と言う。戦前の食材の少ない時代には重宝されたようだ。

ウクマミは西日本では食されているが、何故か東日本では食べる習慣がないと言う。地域によって藤豆、花豆、千石豆等と呼ばれているが、関西では隠元豆と呼ばれ、隠元禅師が持ち込んだ豆というのが定説になっているようだ。蔓や葉の繁茂量が多いので、家畜の飼料や緑肥にも用いられたという。

高血圧改善効果のあるカリウムや食物繊維を多く含んでいるので病氣予防にいいが、非常に微量だが青酸配糖体が含まれているようなので、大量摂取は注意が必要である。

さて、政府から要求額以上の予算を引き出した仲井眞知事は、「有史以来の予算」「いい正月になるなあ」「40万県民を代表して感謝する」等と発言して「沖縄の人はゆすりの名人(メア氏発言)」であることを証明した。それに対して名護市民は辺野古新基地建設反対の市長を圧勝させることで「政府に屈しない」ことを証明した。「シタイヒヤー(よくやったー)」である。

予算はほとんど海岸整備、道路拡張、土地改良等の公共工事に使われる。ウクマミも大幅な土地改良や河川整備で私の地域では見られなくなった。中南部の海岸線は埋め立てや護岸工事で多くの生物が死に絶えた。せめて北部の海岸線、まずは今直面している辺野古の海を守る事が今を生きている私たちの子孫への義務である。

とよみ生協病院
事務課長 金城稲子

